

## 第42回 諏訪湖少年野球選手権大会 規定

### 1. 試合について

#### (1) 高学年の部

試合は6回戦とし、試合時間は1時間20分を経過したら、新しいイニングに入らない。  
決勝戦は6回戦とする。

全試合において、1時間を過ぎて10点差以上の場合は「コールドゲーム」とする。

同点の場合はタイブレーク方式(0アウト1・2塁から)を採用する。

タイブレーク方式も同点の場合、最長で2回まで行う。ただし、その時点でも同点の場合は、抽選とする。

#### (2) 低学年の部

試合は5回戦とし、試合時間は1時間10分を経過したら、新しいイニングに入らない。  
決勝戦は5回戦とする。

全試合において、1時間を過ぎて10点差以上の場合は「コールドゲーム」とする。

同点の場合はタイブレーク方式(1アウト1・2塁から)を採用する。タイブレーク方式も同点の場合、最長で2回まで行う。ただし、その時点でも同点の場合は、抽選とする。

#### (3) 中学の部

試合は7回戦とし、試合時間は1時間30分を経過したら、新しいイニングに入らない。  
決勝戦は7回戦とする。

決勝戦以外は5回以降7点差でコールドゲームとする。

同点の場合、タイブレーク方式(0アウト1・2塁から)を採用する。タイブレーク方式も同点の場合、最長で2回まで行う。ただし、その時点でも同点の場合は、抽選とする。

2. 監督が抗議、または選手に指示する場合はグラウンドに出てもよい。監督、コーチは、ベースコーチはできない。
3. 小学生の金属スパイクの使用は禁止する(ゴム底スパイクは可)。
4. チーム内でのユニフォーム(監督・コーチのパンタロンも禁止)・アンダーシャツ・ストッキングの色・柄の違いは認めない。(連合チームは除く)
5. 背番号 監督は30、コーチは29・28、主将は10とし、選手は0～99とする。ベンチ入場人数は代表者1名、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、補助員2名以内、選手26名以内とする。
6. ベンチは、組み合わせの若番を1塁側とする。
7. 代表者は応援団も含めて、チームのすべての責任をもつこと。
8. ボークは「低学年の部」のみ、各投手の1回目は注意とする。
9. その他、野球規則・軟式規定・大会細則による。
10. 日没、降雨、雷などで試合続行が不可能な場合また、環境省が発令する熱中症特別警告情報(熱中症特別警戒アラート) 暑さ指数(WBGT)に基づき(赤)危険 指数3.1以上の場合は試合を中止

する。試合規定イニングの過半を完了して（高学年の部・中学の部は4回、低学年の部は3回）、尚且つその時点で点差がある時は正式試合とする。（上記条件を満たさない場合はノーゲームとし再試合を行う。因みに、上記以外の通常の試合であれば1回の表裏終了時に規定時間を過ぎていて点差があれば、その時点で試合は成立し正式試合となる）。

11. 日没、降雨、雷などで試合が中断した場合、その会場での再開が困難な場合は、試合同一日内で試合会場を変えて再開することもある。この場合、中断前の試合を継続して行うものとする。
12. 各チームは、試合開始予定時間の40分前に試合会場にて、所定のメンバー表を提出すること。  
※メンバー表は、事前に監督もしくは実行委員に配布します。
13. 試合時間は繰り上がることもあるので、早めの準備をすること。
14. 捕手はヘルメット、レガース、プロテクターを必ず着用すること。また、次打者とベースコーチもヘルメットを着用すること。
15. 「低学年の部」では、投手・捕手間を15メートルにする。
16. 1イニングが長くなった場合15分を目安に給水を設ける。また2・4・6イニング終了後、給水タイムを5分間設ける。

2023年7月8日 改訂

2024年7月28日 改正